



# 環境フォーラムさかた(電子)環境かわら版

令和3年9月1日号 酒田市環境衛生課



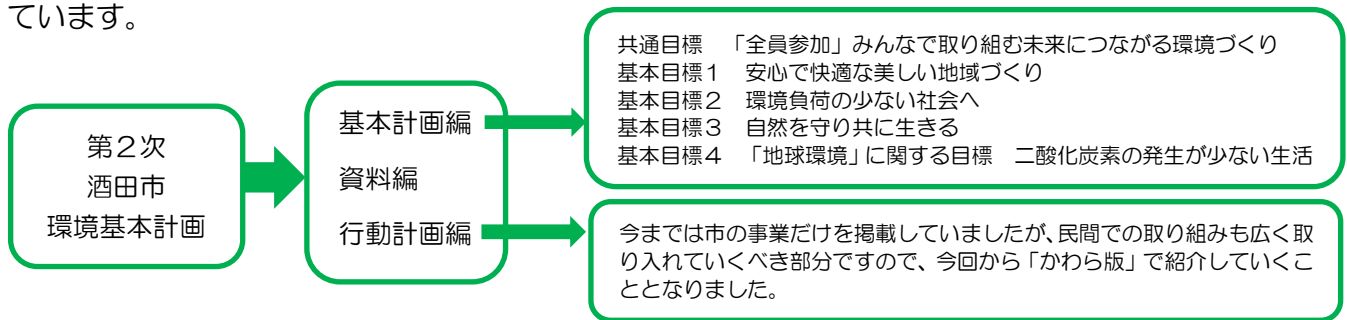
## 環境かわら版がリニューアルします

**これから「環境かわら版」では、市民や事業者の皆様が自主的に取り組んでいる様々な環境保全の取り組みについて、毎回ご紹介していきたいと思います。**

紙面の2枚目に『かつどう☆しょうかい』コーナーを設け、計画の目標に沿う形でご紹介していきます。まずは「環境フォーラムさかた」にご参加いただいている皆様の活動を紹介していく予定です。

### 〈第2次酒田市環境基本計画〉

本計画では、環境保全のための5つの目標を定めています。そして、目標達成のために、市役所が事業として行うだけでなく、酒田市民や市内の事業者の皆様にも、広く活動・参加・協力をお願いしています。



### 〈環境衛生課よりのお知らせ〉

## 夏のおわいのクマにご用心！

昨年秋は、全国的にクマの出没が多く、大きな問題となりました。幸い、酒田市のクマ出没件数は、現在のところ平年並みですが、昨年からの傾向として、川南地区や市街地付近に出没が増えたことが挙げられます。

林野庁から、クマの主な食糧となるブナの実の今年の作柄が発表されました。山形県は、昨年の「大凶作」から一段階低い「凶作」とのことです。秋の出没が昨年より減る可能性はありますが、油断は禁物です。

山に入る際は万全の「クマ対策」を施す一方、身近な山林や畑にもクマが潜んでいると思って用心を心がけてください。

【参考】酒田市ホームページ『クマとのトラブルを予防しよう』

<http://www.city.sakata.lg.jp/kurashi/doubutsu/yasei/kuma.html>

## NPO 法人ひらた里山の会 里山資源を活用した持続可能な地域づくりへの挑戦



酒田市檜橋大林4-2  
NPO 法人ひらた里山の会  
代表理事 佐藤忠智  
電話/FAX 25-0171  
<http://www.nposatoyama2009.org/>

### ■事業目的と活動の経過

NPO 法人平田里山の会は、酒田市中心山間地域（旧平田町）の人口減少に伴う課題解決に向けて「里山資源を活用した持続可能な地域づくり」里山保全事業を中心に、「やれることをやってみる」を合言葉に会員二十八名で平成二十一年四月に設立、以来十三年目を迎えた現在の会員数は百八十名と拡大している。

酒田市の景勝地であり、やまがた百名山の「経ヶ藏山」と日本百名瀑「十二滝」では、毎年発生する損壊個所の整備や下刈りなどの保全活動と、子ども達の自然体験学習のサポートや市民参加のトレックキングツアーを継続してきた。

被災地松島湾のカキ養殖棚の主材である孟宗竹が不足していることを知り、平成二十四年六月から広くボランティアを募ったところ、他団体や多くの市民が活動に参加してくれた。同年十二月には、大型トラックに九mの孟宗竹四百五十本を届けた。その後、小学校の「地域を知る・総合学習」でも大きな反響があり、四年間の成果は、カキ棚材孟宗竹千二百本、ボランティア参加者総数千四百人。荒廃竹林が整備されたこと等により「やまがた公益大賞グランプリ」を受賞した。

### ■ミッションは

【美しい里山を次の世代につなぐ】

こと

温泉アイアイの周辺の悠々の杜は、標高百mの酒田市民の里山となっている。四月～十一月の各月二回の保全整備ボランティア活動により「ジュニアシニア」の誰でも学び憩える、他の生き物とも共生できる里山づくりを行っている。

コロナ禍の令和二年度の「悠々の杜整備ボランティア（※）」は前年度より三十五%の増であった。里山資源を活用した地域づくりが認められ令和二年、第二十一回「やまがた環境大賞」受章に至った。

中山間地域では、定住人口減少により定期的な草刈りや道普請ができなくなってきたおり、店やガソリンスタンドの撤退などで日常生活に支障をきたしている。誰にでもできる少しのお節介の灯が、地域全体を照らし出せるのではないか。

先ずは「出来ることをやってみる」、活動を楽しみ続けることで参加者が多くなり、振り返れば大きな成果になる。身近な里山に価値を見いだすことで、これから先、住んでいる地域に誇りを持つ人がなくなることはない。

※「悠々の杜整備ボランティア」は、随時参加者を募集中です。